



九重町 台湾友好さらに

相互の集客や交流拡大へ



覚書を交わした日野康志町長（左から2人目）と邱福順豊浜郷長（同3人目） 〓九重町役場

豊浜郷と覚書結ぶ

【九重】相互の集客・交流人口拡大などを図ろうと、九重町と台湾・豊浜郷は6月26日、連携、協力に関する覚書を結んだ。将来的には姉妹都市関係締結を目指し、幅広い分野で結び付きを強めていくことを申し合わせた。

豊浜郷は台湾東部の花蓮県にある五つの村で構成され、人口は計約4千人。海と山に恵まれ農業と漁業が盛んで、近年は観光業にも力を入れている。覚書は、同県出身で台北駐福岡経済文化弁事処の陳銘俊処長(60)が仲介役となり、昨年12月、日野康志町長らが豊浜郷を訪れたことで話が進んだ。

今回は邱福順・豊浜郷長(57)や行政関係者ら7人の訪問団が来町。町役場であった締結式で、邱郷長が「友好の第一歩を踏み出すことができ、とてもうれしい。九重町からたくさんの方のことを学び、日本から豊浜郷を訪れる人を増やしたい」、日野町長は「農業と

観光が基幹産業で、豊かな自然を生かした癒やしの町という点も共通している。行き来を活発にし、文化、経済、教育などさまざまな分野で交流を深めていきたい」と述べた。式後、一行は九重「夢」大吊橋や長者原ヒーターセンター、地熱発電施設などを視察した。九重町と台湾の間では2018年、このえ緑陽中と台湾・高雄市の2中学校が姉妹校となり、昨年夏に台湾の生徒が来町、冬には緑陽中生徒が訪問した。町は「これまでの学校間交流に加え、新たな友好関係が生まれた。国際交流をさらに進めたい」と話している。

(宮家大輔)



〔問①〕台湾の豊浜郷（ほうひんきょう）は台湾東部の花蓮県にあるいくつかの村で構成されていますか。また、人口は合わせて約何人でしょう。

〔問②〕豊浜郷について九重町長は、どのようなところに共通点があると述べていますか。

〔問③〕台湾や豊浜郷のことを調べ、今後、九重町がどのように交流を深めていけばいいと思いますか。考えてみよう。